

科目名 Subject	ボディエステⅤ Body EstheticsⅤ		教員名	エステチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2単位
必修／選択	必修	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	○
科目の概要	エステティックⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの内容を踏まえ、上級試験に対応できるカウンセリングを学ぶことによって生活習慣や職種、年齢の違う方々の悩みに対する対応力をつけ実践できるようになる。				
授業の目標	A E A 試験に向けたカウンセリングシート作成及びボディメイキングの為の正しい機器の選択ができる。本科目を履修することにより、A E A の資格実技試験に対応したボディエステティック全般を習得することができる。 本科目を履修することにより、エステティック業協会の上級認定エステティシャン資格試験科目の1つであるボディエステティック実技、理論を習得し試験に合格できる。 高齢者や肌質の違うモデルへの対応などを理解し、施術方法を習得し、実践できる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことをモデルを使いながら復習する。なお、各回の復習には概ね60分～90分程度行い、次の授業の際に技術が戻らないように定着させておくこと。				
教科書・教材	教科書	日本エステティック協会テキスト			
	教材	ボディ用教材、講師作成資料			
	使用設備・備品	全身美容実習室			
	参考文献				
評価方法	平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む） 試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	この科目はフェイシャルエステⅣ・Ⅴ、ボディエステⅣの単位を取得しなければ履修できません。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	オリエンテーション カウンセリングとはなにか学ぶ	生活習慣、年齢、肌質の違うモデルへの正しい対応を学び実践できる。	前期で学習したカウンセリングについて理論編Ⅰ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を中心に復習する。
第 2 回	ボディカウンセリングの対応を学ぶ	高齢者など異年齢、肌質の違うモデルへの正しい対応を学び実践できる。	高齢者へのカウンセリングについてジェロントロジー、理論編Ⅰ、Ⅱの解剖生理と栄養学・運動学を中心に復習する。
第 3 回	ボディ実技・ワックスの理論について学ぶ	ワックス禁忌や注意点、アフターケア、毛髪について正しく理解し説明できる。	毛髪の成り立ち、禁忌事項、アフターケアについてをノートにまとめておく。
第 4 回	ボディ実技・ワックスの実践について学ぶ	ワックス禁忌や注意点、アフターケア、毛髪について理解し正しく実施できる。	毛髪の成り立ち、禁忌事項、アフターケアについて分からなかったところを復習する。
第 5 回	ボディ化粧品学①（カルテ記載について）	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し、実践できる。	カルテ項目の使用化粧品についての部分に自分自身の使用化粧品を記載する。
第 6 回	ボディ化粧品学②	試験に対応したカウンセリング方法、カルテ記入の方法を習得し、実践できる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚えノートにまとめてくる。
第 7 回	ボディ化粧品学③	肌別に対応した化粧品を選択することができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第 8 回	ボディ化粧品学④	肌別に対応した化粧品を選択することができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第 9 回	ボディカウンセリング～仕上げ	今までに習得した手順、6手技、電気機器選択を的確に行うことができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第 10 回	ボディカウンセリング～仕上げ	今までに習得した手順、6手技、電気機器選択を的確に行うことができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項を復習し、不明な点を授業で確認できる準備を行う。
第 11 回	姿勢判断 上級カウンセリング	的確な姿勢判断を行い、目的に対応したメニューを組み立てられる。	骨格・姿勢をについて理論編Ⅰの骨格系・筋系を読んでノートにまとめる。
第 12 回	姿勢判断 上級カウンセリング	的確な姿勢判断を行い、目的に対応したメニューを組み立てられる。	骨格・姿勢について授業で理解できなかった部分について復習する。
第 13 回	ボディカウンセリング～仕上げ	身体的判断から仕上げまでの的確に行うことができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第 14 回	ボディカウンセリング～仕上げ	身体的判断から仕上げまでの的確に行うことができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。
第 15 回	ボディカウンセリング～仕上げ	身体的判断から仕上げまでの的確に行うことができる。	カルテ記入の項目を把握し使用する化粧品の効果と成分を覚え、季節や生活習慣による肌の違いを調べてまとめておく。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	アフターカウンセリング	トリートメント後のアドバイスを的確に時間内に行うことができる。	モデルの肌別や悩みにあわせたホームケアやサロンケアの授業で理解できなかった部分について復習する。
第 1 7 回	アフターカウンセリング	トリートメント後のアドバイスを的確に時間内に行うことができる。	モデルの肌別や悩みにあわせたホームケアやサロンケアの授業で理解できなかった部分について復習する。
第 1 8 回	ボディ解剖生理 1	協会上級試験、A E A 認定試験で出題される身体に関する内容を理解し述べることができる。	協会上級試験、A E A 認定試験例題集の解剖生理項目の不明な部分を書出し、授業で確認できる準備を行う
第 1 9 回	ボディ解剖生理 2	協会上級試験、A E A 認定試験で出題される身体に関する内容を理解し述べることができる。	協会上級試験、A E A 認定試験例題集の解剖生理項目の不明な部分を書出し、授業で確認できる準備を行う
第 2 0 回	ボディカウンセリング～仕上げ～アフター	身体判断から仕上げ、アフターまでの確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。
第 2 1 回	ボディカウンセリング～仕上げ～アフター	身体判断から仕上げ、アフターまでの確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。
第 2 2 回	ボディカウンセリング～仕上げ～アフター	身体判断から仕上げ、アフターまでの確に行うことができる。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習し、時間内に技術を行えるよう反復練習する。
第 2 3 回	実技模擬試験	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習しホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。
第 2 4 回	実技模擬試験	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習しホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。
第 2 5 回	実技模擬試験	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習しホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。
第 2 6 回	実技模擬試験	カウンセリングから実技まで時間内に正確かつ的確に行える。	季節・年齢・生活習慣などが身体に及ぼす影響を復習しホームケアアドバイスまで時間内に技術を行えるよう練習する。
第 2 7 回	実技まとめ	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。
第 2 8 回	実技まとめ	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。
第 2 9 回	実技まとめ	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。
第 3 0 回	授業のまとめ	時間内に技術を終え、かつ的確に質問に答えることができる。	電気機器の効果・注意点・禁忌事項・アフターケアなどを授業でできなかったところを復習する。